

放課後等デイサービス やまっこクラブ 令和4年2月作成

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員は10名とし、個別活動のスペースと集団活動のスペースを部屋ごとに区切ることで適切な活動スペースを確保できるよう努めている。
2	職員の配置数は適切であるか	○			個別活動、集団活動の2パターンに合わせて職員を配置している。また、個別対応での支援が必要な場合に備えて、適切な支援が行える職員数を配置している。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関にすのこを設置する事で安全に昇降できるようにし、ドアは引き戸にする等工夫している。また、事故を未然に防ぐ観点から転倒しそうな場所や滑りそうな場所にはクッションボールやジョイントマットを設置して安全配慮に努めている。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事業計画会議を行い、振り返りと目標設定を行っている。また、毎月管理者と業務目標について話し合う場を設け業務改善を行っている。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの結果を踏まえ、職員間で自己評価結果会議を行い、改善目標や工夫点等を共有している。また、改善目標に関しては具体的にどのように行うかを話し合い改善に努めている。
6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケート結果を取りまとめたものを保護者様に配布し、HPでの公表も同時に行っている。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は行っていないが、地域の社会福祉協議会や民生委員児童委員等と連携を取り、外部評価を依頼していく予定。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員のスキルに応じた研修計画を作成し、参加している。また、今年度はコロナウイルス感染症の影響で参加ができなかった研修もあるが、できる限りオンラインやZOOM等で研修に参加した。また、内部研修も定期的を実施している。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別に面談の機会を設け、本人や保護者の意向を聞き取り計画書を作成している。また、計画作成前にはケース会議を実施し、それぞれの職員からの意見を聞きとったうえで作成している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか		○		検査結果をご家族から提供させていただき、職員間で共有している。また、検査結果を踏まえて支援にあたっている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			運動遊びや自立活動に関してどんな活動が適しているか？どんな目標をもって取り組むか？等職員間で相談しながら進めている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			自立活動ではお子様の興味・関心を考慮し、活動に織り交ぜながら取り組んでいる。運動遊びでは同様の遊びでもルールや内容を変える事でプログラムが固定化しないようにしている。休校日の活動では外出の場所などコロナウイルス感染症予防も含め屋内外を配慮する工夫をしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は主にチャレンジタイムと運動遊び・自立活動を行い、休日・長期休暇では運動遊び・自立活動に加えて自然学習や公園遊び等を行っている。また、季節ごとのイベントや家庭の中では経験することが難しい事も取り入れながら外出支援も積極的に行っている。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			自立活動や集団活動等はお子様の課題に合わせて活動を行っている。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・昼礼にて送迎・活動内容・支援内容の確認、職員の役割や留意点等の確認を行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			その日に行った支援に対し、良かった点や改善点だけでなく各職員がアドバイスや相談を行う時間を設けている。また、ヒヤリハットや申し送り事項等も合わせて共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			終礼時に記録及び報告を行い、職員間で共有している。また、記録には気になった点や良かった点等を記載することで次回ご利用の際に活用できるようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングの結果、日々の様子、ケース会議の結果を保護者様と面談した際に報告して見直しの必要性を判断している。また、相談支援員や学校と連携してモニタリング会議を開催する事もある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			季節のイベントごとに「食事レク」や「制作レク」等を適宜組み合わせ創作活動を行っている。また、地域交流ではコロナウイルス感染症の影響もあり、今年度は実施できていない。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議が行われる際は、事前にお子様の様子や状態、支援の経過等を全体で会議を行ったうえで担当職員が参加している。また、会議後には議事録を残すと共に職員間でも共有できるようにしている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の月間、年間予定は保護者様や学校から情報を頂いており、下校時に先生が引率している場合には次回利用予定日の下校時刻の確認等を行っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアを必要とするお子様はご利用していないが、受け入れる際には主治医との連絡体制を整える。
23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に通われていた児童発達支援事業所での情報等は直接又は相談員を介して情報の共有を行っている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか		○		現在、卒業生がいないため実績はないが、今後卒業生が出る際には保護者様に同意を得たうえで情報提供を行う。また、別の事業所を利用する際には情報を共有できるよう整備している。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○			今年はコロナウイルス感染症の影響で発達障害総合支援センターの主催する研修動画を視聴する等、オンラインで研修に参加する機会が多かった。今後も積極的に研修へ参加し、専門機関と連携して支援の資質向上に努めていきたい。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナウイルス感染症を予防しながら児童館や公共の施設を利用し、できる限り交流できるように努めている。以前は児童館のクリスマス会等に参加して交流する機会を作っていた。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催された際には積極的に参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳にて活動の様子や気になる事を伝え、情報を共有している。また、面談の際に目標を確認して情報を共有している。

29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			やまっこでの対応方法を具体的に状況や時間を加えながら保護者様へ伝えている。また、ご自宅での様子を聞き取りながら支援のアイデアをお伝えしている。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に時間を頂く事で詳細にお伝えし、説明がいたらなかった場合には都度、保護者様からのお問い合わせにて対応させていただいている。また、見学や体験を通してからの契約を行うことで保護者様やお子様と共に支援の内容を理解いただいたうえで契約をしている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や面談の際にお話を伺い、相談された内容は可能な範囲でアドバイスさせていただき社内でも共有している。また、必要に応じて綿密に会議を行う事で支援に繋げている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		現在はコロナウイルス感染症の関係で開催は難しいが、終息した際には親子合同イベント等で保護者同士が関われる機会を検討していく。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情に関する連絡体制を説明している。また、苦情があった際には適切に対応ができる体制を整えている。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度発行している「やまっこだより」で活動の様子や行事の予定を発信している。
35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報となる書類は鍵付きの書庫に保管し、写真等は契約の際に保護者様の同意を得て使用している。また、申し送り時等には個人情報に十分気を付けている。
36	障害のある子どもや保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様が一緒に居る場ではお伝えする事ができない場合等は改めてご連絡させていただくか、お手紙やお便り帳を通して情報共有するよう努めている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナウイルス感染症の関係で招待等の地域交流はできていない。また、終息後には個人情報等も含め検討していく。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、契約時に保護者様に伝えている。また、玄関にて保管し、職員や保護者様が閲覧できるように設置している。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年2回実施している。また、実際の状況を想定したうえで避難経路の確認、消火器の使い方を予習してから訓練を実施している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止研修を受講している。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の同意書を個々に作成し、保護者様に同意をいただいている。また、やむを得ず身体拘束を行った場合には管理者に報告し、保護者様に対して身体拘束の状況等を報告する事を義務付けている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて保護者様と連携を取り、食べ物は持参した物を提供するか、事前に確認した物を提供する等の対応を行っている。また、アレルギーの有無を契約時に確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月に1度再発防止検討会議を行い、ヒヤリハットの提出や危険予測に関して職員間で共有している。また、終礼時にはヒヤリハットを確認し、あった場合には記録に残している。